

風"s・風のたよりオンライン版

2001/10/19 No.56

風のたより56号

10月19日連続ピースアクション～テロも戦争も反対～に参加して
「報復の連鎖を断ち切るために」於名古屋市教育館(名古屋市中区栄)
ディビッド・マックレイノルズさん(ニューヨーク在住WRL)のお話

■ WRL

(WRL:1923発足、ガンジーの非暴力行動に深く感銘、公民権運動、核実験反対運動、ベトナムからの撤退を求めた団体) どの国にも基地をおくことに反対しています。沖縄もそうです。日米安保条約にも反対しています。市民同士の同盟には賛成しています。

■ ニューヨークで1万人の人が戦争反対意志の行進

あたかもアメリカの全国民が攻撃を支持しているようにメディアは伝えているが、各地のキャンパスや地域で抗議にたちあがっている。都会でも反対している。今回のこの事態は深刻にしすぎても足りないくらい深刻である。

■ 2時間の間に風景が一変そして....

71歳の彼は、今はWRLの現役からは退いているそうです。彼は、貿易センターから2km離れたところに住んでいた。10時ごろアパートを出たが、テレビを見ていなかったため、多くの人々が北に向かって歩いていく異様な光景に出会い、初めて事を知り家に帰りテレビをつけたところ、2つのビルが崩れ落ちる光景を見た。9月11日、2時間の間に、アメリカのいままでのどんな事故でもなかった数千人もの数の人が一瞬のうちになくなった。

■ 20世紀のいくつかの紛争

アメリカのインドネシア支持による東ティモールの抑圧支持、中央アメリカの武装集団のアメリカでの訓練や資金援助、CIAを使い、イスラエルの選挙で政権を得たものを転覆させたこと、ベトナム・ラオス・カンボジアでの事. 時間

がないのであげられないほどの戦争があつて50万人の人が犠牲になったが、ほとんどが子どもや高齢者である。

■大半のアメリカ人は知らない

これらの実情を政府は否定をし、メディアは知らせていない。冷戦時代はチェック機能があつたけれど今はアメリカが唯一の超大国。大統領選挙も数で負けていたのにブッシュが大統領になった。今回のことは、犯してきた罪を背景に起きた。それらに関心なく、日々の普通の生活をしてきた市民にとって、どうしてこんなにひどいことになったかとショックを受けている。あまりにも突然飲みこまれた出来事。一瞬にして町が消えた広島・長崎と何ら変わることはない。

■犯人の真相は？

犯人はビンラディンと言われているが、私たちは真相を知り得ていない。イギリスのブレア首相のみに伝えていると言う。証拠を私たちの手に何ら与えられていない。

国際法廷に提出されなければならないのに、法廷訴追のかわりにアフガニスタンを空爆している。(10月19日、今日の夕刊によると、地上戦も開始されたという)長い間破壊されてきた町に破壊価値のあるようなものも無く、民間人の命だけが危険にさらされる。

■難民の危機を生み出し、テロを生みだす爆弾投下

飢えと乾きのアフガンの人々に、爆弾と食料を落とすとは、ばかげている。私が育ってきたアメリカがヒットラーの忌まわしい宣伝行為に似た行為をしている。爆弾一つ一つ落とすことがテロを生み出している。

■どうして忘れることが出来よう...

反ソ武装闘争としてアメリカが支援した産物が今回のテロ企てにつながっていること、湾岸戦争での時-----（聞き逃した）で基地を設けたことをどうして忘れることが出来よう。パキスタンのアメリカ支援にゆれる国民の行動からパキスタンの転覆も危惧されている。インド・パキスタン戦争にならなければいいが...。またウズベキスタンからの地上部隊が派遣されれば、中国に深い懸念を招く。

■国際法に基づき法のもとで裁くべき

不法行為でまるでリンチをおこなう暴徒のようだ。精密兵器のピンポイント攻撃を恥じるべきだ。何百人の人が亡くなっている。日本国憲法の九条を堅持すべきで、他の国家も持つべきだ。アメリカも九条を持つことが夢です。

暴力の行使をやめなければならない。富める国と、貧しさから抜け出せない、また基本的な生活すらできない国の深い溝がある世界では平和をつくりだせない。アフリカの深刻なエイズ問題や、飢餓の人々に使えるはずのお金が戦争に使われた。南北、東西を問わず、多国籍企業や帝国主義が支配する世界、富める少数の人を維持する世界に相對しましょう。

■アメリカの心と良心と魂と一緒に

アメリカの心と良心と魂と一緒に訴えかけて下さるようお願いいたします。最後にキング牧師のいう暴力の究極的悪循環、増殖する仕組みの暴力を断ち切らなければ.....という話で終わりました。

■シャプラニールから

シャプラニール(バングラデシュとネパールで30年近い活動を続けてきたNGO)から、アフガニスタン難民緊急救援募金についてお知らせが来ました。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。
